

CM-500MV2 スキャナーの設定例

はじめに

本資料で説明する内容は全て「New user manual.pdf」に記載されております。ここでは、代表例だけを説明しています。詳細は前記マニュアルをご参照下さい。また、文中に「New user manual.pdf」の対応するページを記載してあります。

1. 国別設定

必ず“Japan”に設定して下さい。

- ① “ENTER”をスキャンする。(PAGE14)



- ② “Japan”をスキャンする。(PAGE14)



- ③ “END”をスキャンする。(PAGE15)



2. 日付と時刻の設定

お使いになる前に必ず日付と時刻を設定して下さい。

- ① “ENTER”をスキャンする。(PAGE24)
② “Set date &time”をスキャンする。(PAGE24)
③ 日付と時刻を入力する。 Page82 で数字をスキャンする。

例：2010年03月18日，18時20分の場合 : 1003181820 をスキャンする。

- ④ “SET”をスキャンする。(PAGE82)
⑤ “END”をスキャンする。(PAGE25)

3. COM-PORT への接続方法

CM-500MV2、通常ヒューマンインターフェースデバイス (HID キーボードデバイス) として接続されますが、これを Virtual-COM として COM-PORT に接続する方法を簡単に説明します。

なお、PC の OS は Windows2000 を例に行っていますが、Windows X P / Vista / Windows 7 も同様な手順となります。

2. 手順

- ① CM-500MV2 をUSBケーブルでPCに接続します。

この状態では、CM-500MV2 がヒューマンインターフェースデバイスとして認識されます。

また、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

(以下の手順でCDディスクにある C0801.inf をインストールします)

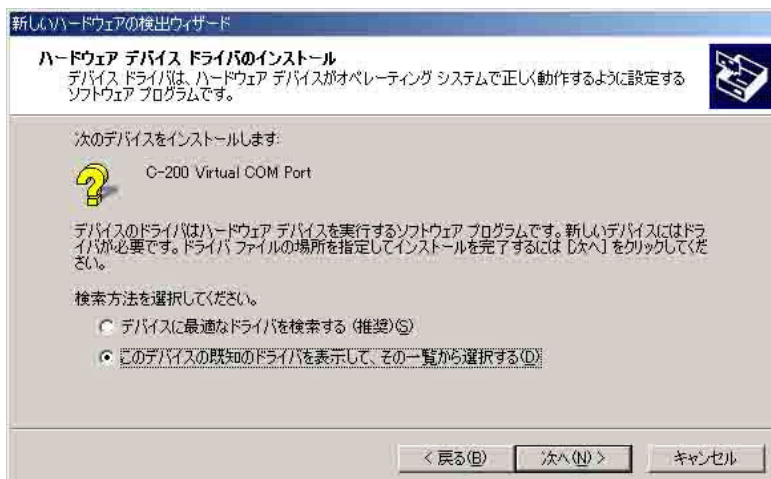
- ② 以下のバーコードを順に読込ませます。

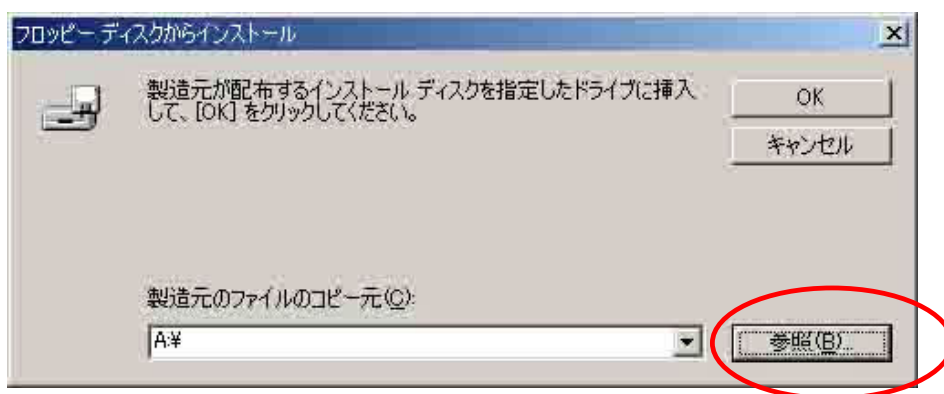
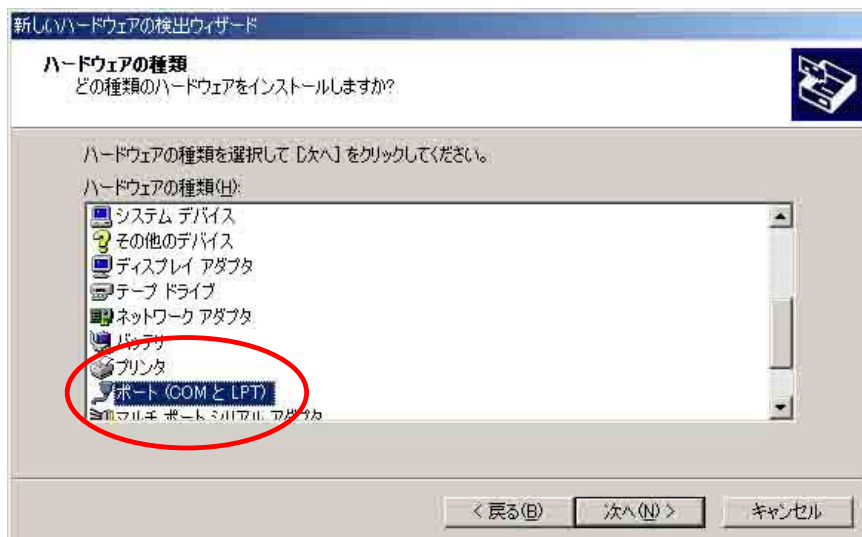
“ENTER” をスキャンする。(PAGE10)

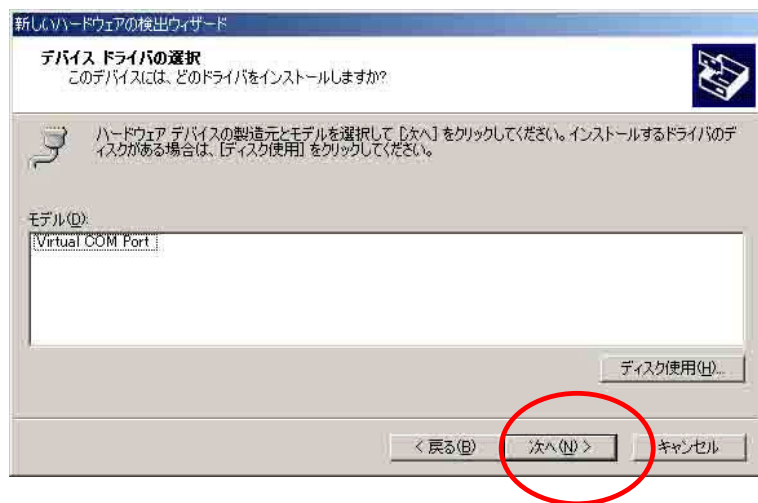
- ③ “RS232”をスキャンする。(PAGE10)

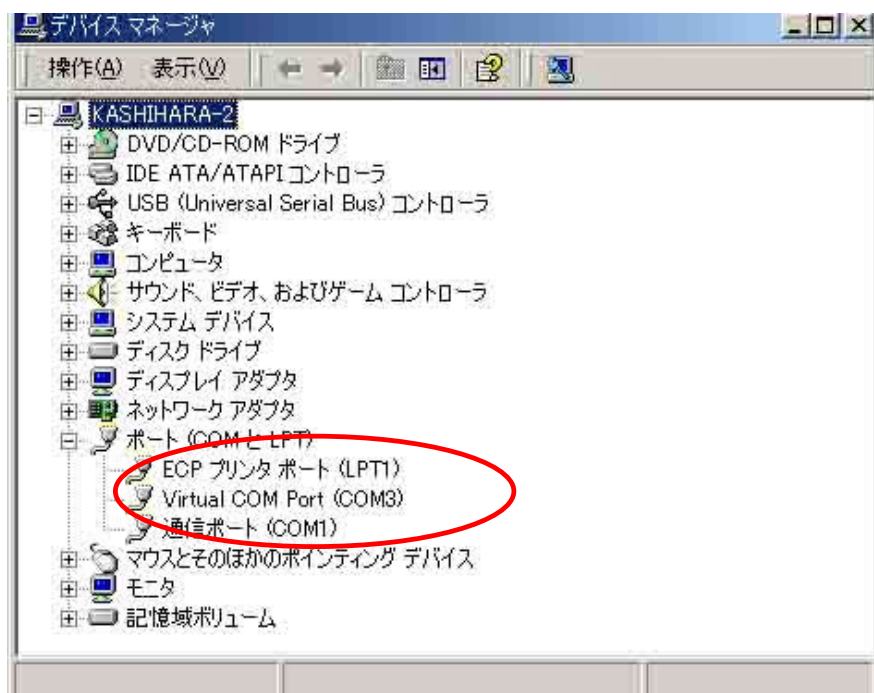
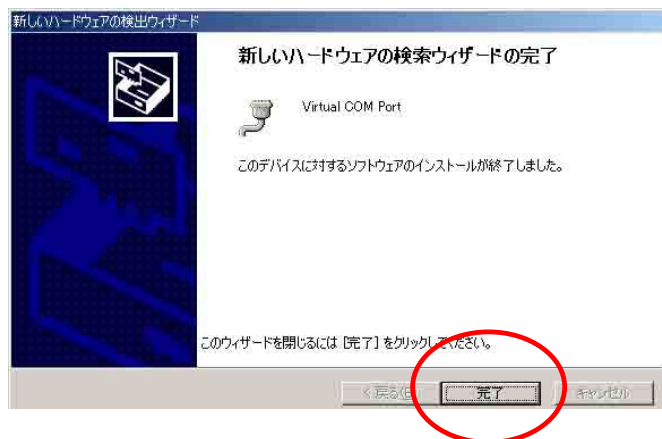
- ④ “END”をスキャンする。(PAGE11)

- ⑤ ハードウェアの検索ウィザード画面が表示されます。順に進めて下さい。









4. Virtual-COM から HID キーボードデバイスへ戻す

- ① “ENTER” をスキャンする。(PAGE10)
- ② “Keyboard” をスキャンする。(PAGE10)
- ③ “END” をスキャンする。(PAGE11)

以上